

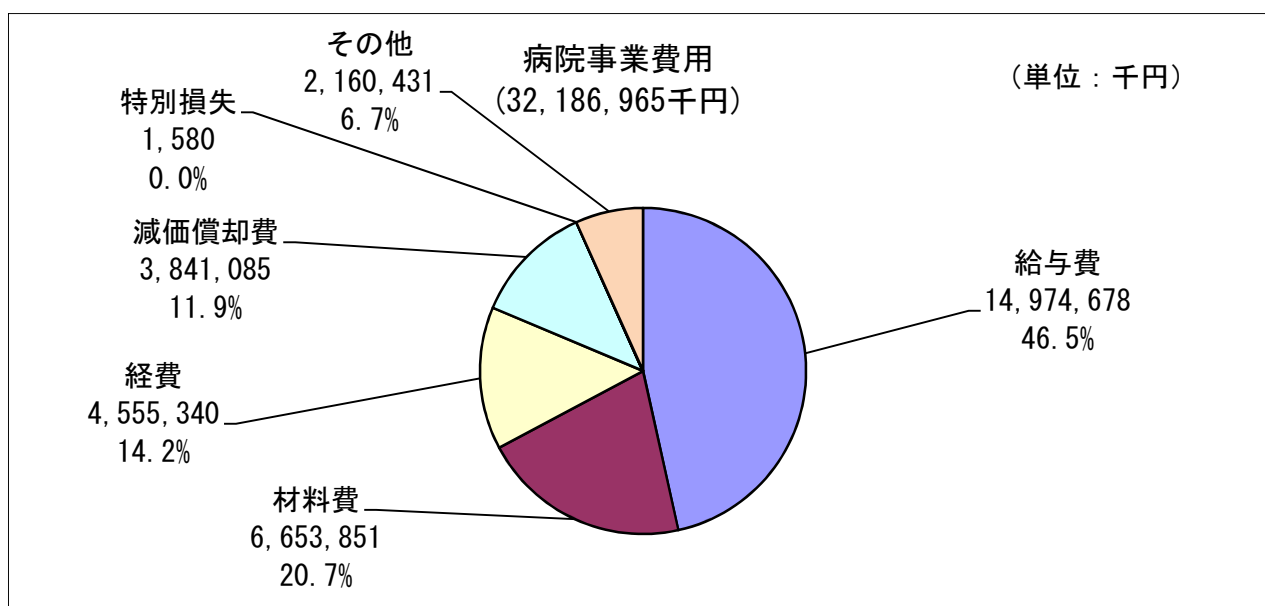
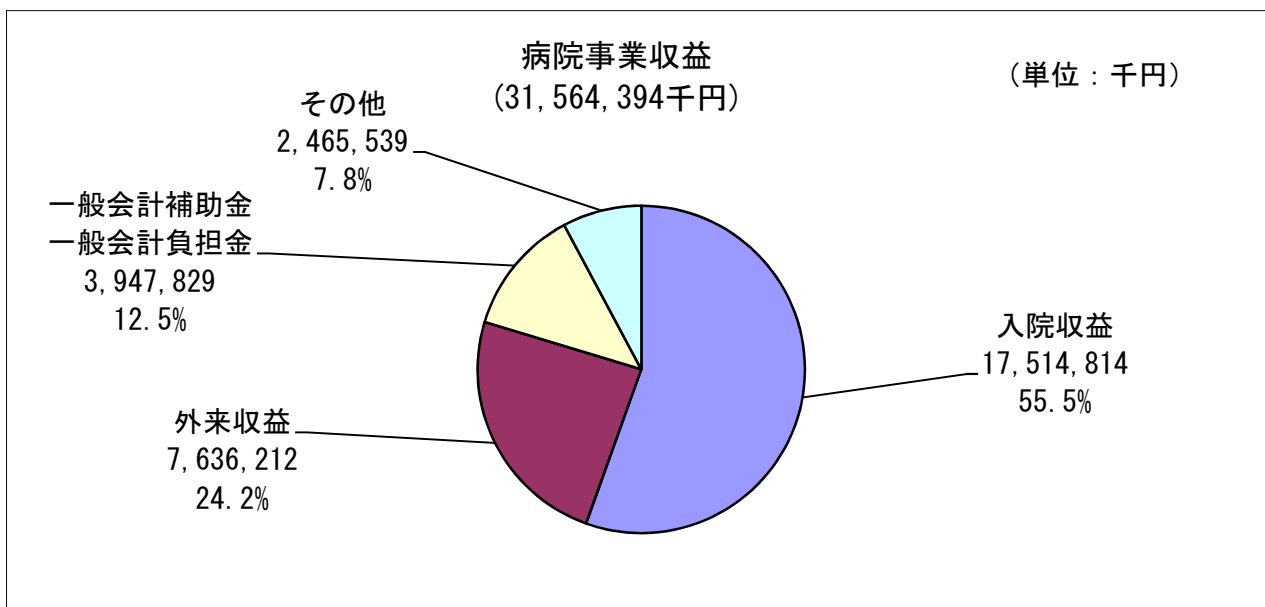
名古屋市病院事業会計 平成28年度決算の概要

1 病院事業全体の収支

名古屋市病院事業は、東部医療センター、西部医療センター及び緑市民病院（指定管理者による運営）の3市立病院を設置し、市民の皆さまに医療の提供を行ってまいりました。

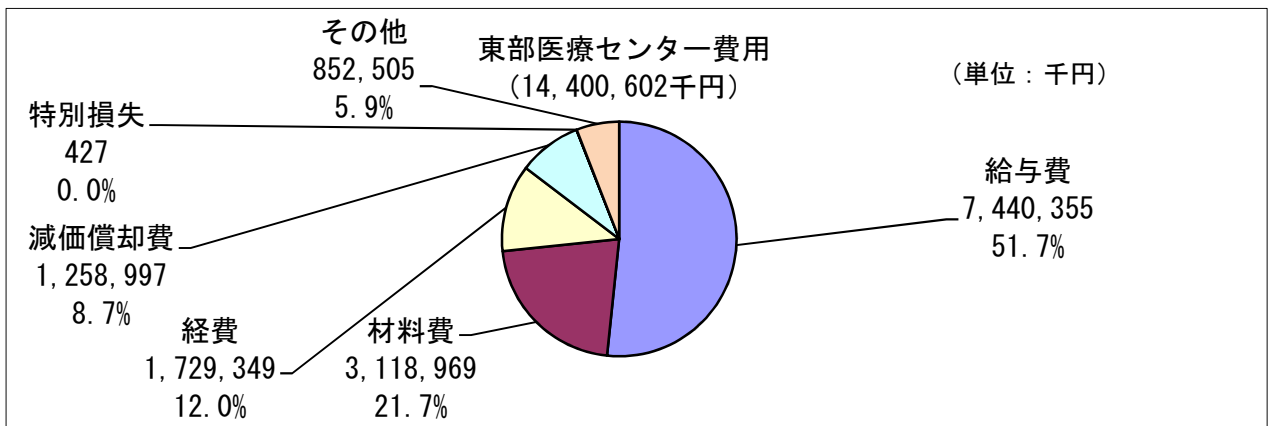
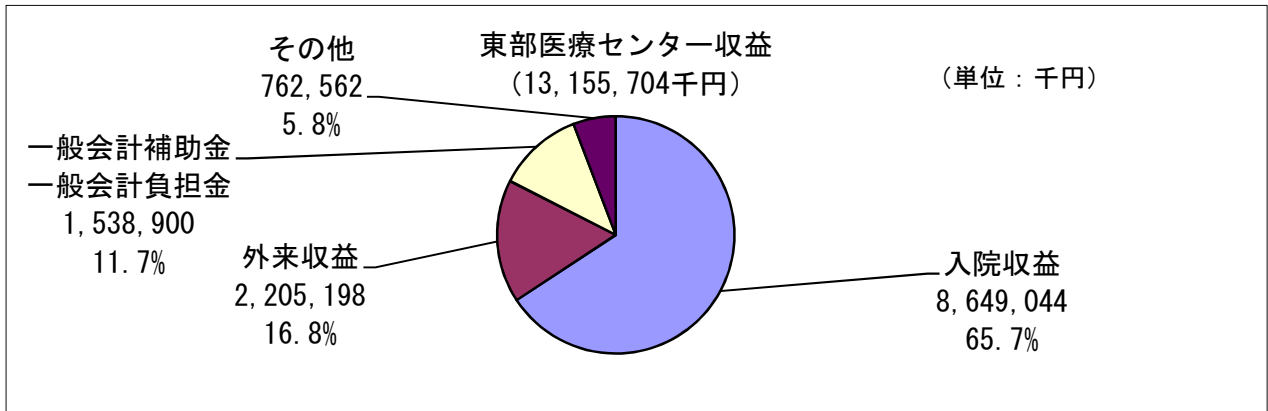
平成28年度における病院事業会計の収益的収支は、総事業収益は、前年度に比べ特別利益が減少したことなどに伴い、6億5千3百万円余減の315億6千4百万円余であるのに対し、総事業費用は、給与費が増加したことなどに伴い、3億3千万円余増の321億8千6百万円余となりました。その結果、6億2千2百万円余の当年度純損失となり、当年度未処理欠損金は87億8千4百万円余となりました。

平成28年度は主な建設改良事業として、東部医療センターでは病棟改築の準備工事、緑市民病院では施設改修工事などを行い、東部医療センターの磁気共鳴断層撮影装置、西部医療センターの陽子線治療計画装置、緑市民病院の生化学自動分析装置など、各病院の設備充実にも努めました。

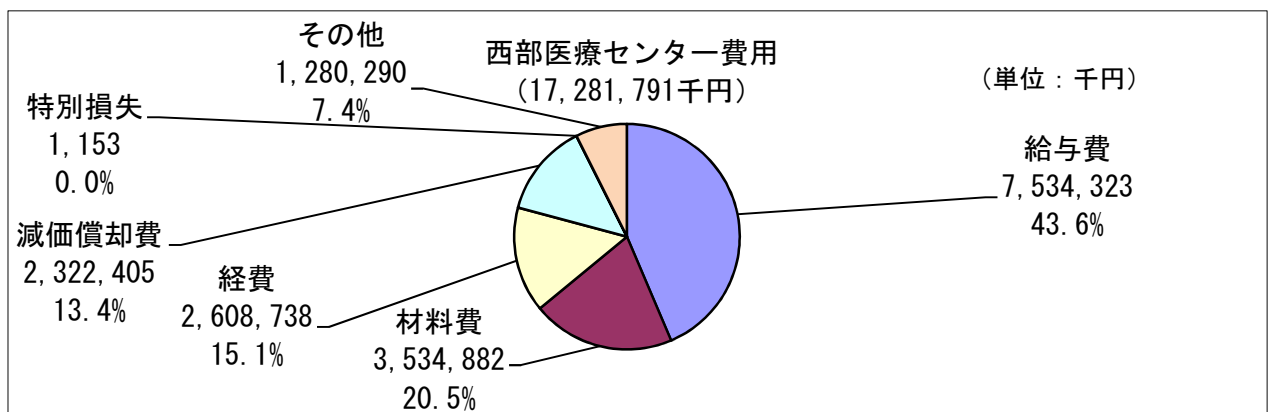
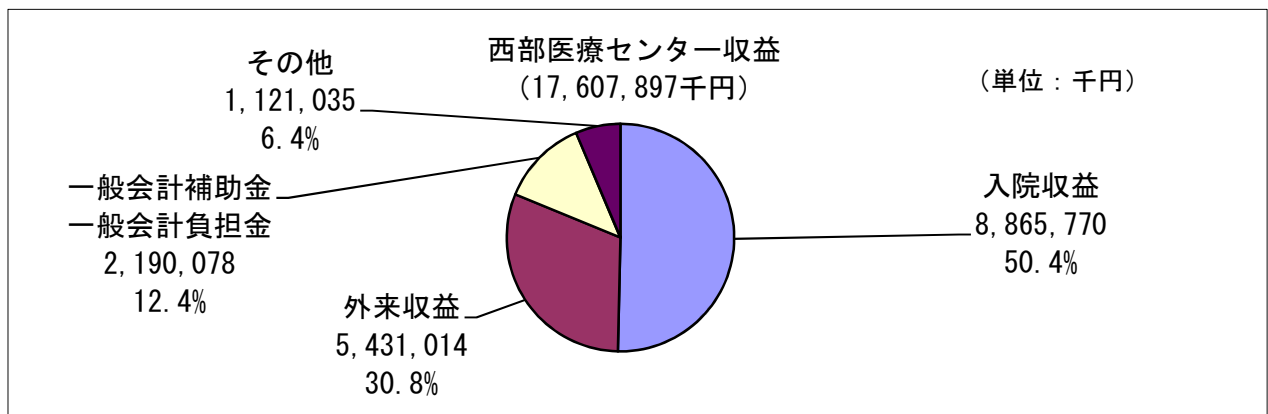


2 各病院の収支

(1) 東部医療センター



(2) 西部医療センター



(3) 緑市民病院

